

会議の概要報告

会議の名称	令和4年度 第3回佐野市総合教育会議
1 開催日時	令和5年2月21日(火曜日) 9時00分～10時25分
2 開催場所	佐野市役所6階 大会議室
3 委員等の人数	6人
4 出席委員等の人数	6人
5 議題	協議・調整事項 (1) 令和5年度佐野市行政経営方針について (2) 教職員の負担軽減、多忙感の解消について (3) 不登校支援について (4) その他
6 会議の公開・非公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	7人
8 会議資料の名称	資料1-1 令和5年度予算(案)の概要について 資料1-2 令和5年度新規事業・充実事業等一覧表 資料2 佐野市の不登校について～スクールソーシャルワーカーの視点から～ 資料3-1 令和4年度精選した作品募集一覧及び令和3年度作品募集一覧 資料3-2 教職員の多忙感の解消について(素案)
9 会議の概要 (発言の要旨)	(1) 令和5年度予算(案)について ・総合政策部長より主に教育分野について説明 ・部活動地域移行については、生徒たちだけで結果を振り返ることも必要である。 ⇒部活動地域移行については、協議会を立ち上げ具体的な取組を進める。また、令和5年6月21日にスポーツ庁長官の講演会を開催し、スポーツ医科学センターの取組を推進する。 ⇒リカレント教育推進事業や資格試験等受験料助成事業により、学び直しや能力向上を志す方々を支援する。 (2) 不登校支援について(スクールソーシャルワーカーからの意見聴取) ・スクールソーシャルワーカーより説明。 ・社会と繋がっていることが非常に重要であり、居場所があることも必要である。 ・保護者が笑顔でいることが子供たちの心の安定にも繋がるため、保護者の方を支援していく取組が大事である。 ・地域の方々の力が非常に必要である。 ・自立して自分たちが社会に出られるような環境を作ってあげるのが一番であり、市にはそういう施策をお願いしたい。 (3) 佐野市教職員協議会等への文書提出について ・今後は各学校で多忙感を軽減する取組を実践し、結果をフィードバックしていただきたい。 ・総合教育会議で協議した内容を教育現場に伝え、また上がってきた意見を協議するということを継続して取り組むことが必要である。 ⇒令和4年度中に佐野市教職員協議会、佐野市管理職員協議会、校長会に対し、総合教育会議の協議事項を市長と教育長の連名で提出する。 (4) その他 ・特になし
10 その他	なし